２０２７年度

歯科技工研修生募集要項

大阪大学歯学部附属病院

募　集　要　項

大阪大学歯学部附属病院は、高度で先進性豊かな歯科医療の提供と将来の歯科医療を担う有能な人材を育成するという大きな二つの役割について社会からの要請を受けています。開設以来約７０年に及ぶ歴史を有する本院は、歯科医療を担う重要なコ・デンタルスタッフとして歯科技工士を位置づけ、その養成と研修を行っています。少子高齢化による人口構造の変遷ともあいまって、近年の歯科医療の進歩発展には著しいものがあり、歯科技工士の学識と技能には益々高度なものが要求されています。本院では、主に歯科技工士の資格取得後間もない者を対象とした歯科技工研修生制度を設け、多くの人々が受診する病院の特性を生かし、経験豊富な指導者の下に主として臨床症例を体験することを通じて、時代のニーズにあったより質の高い歯科技工士の養成と、関係学会の認定歯科技工士の資格取得を支援しています。

応募にあたっては、この趣旨を十分理解し、出願をしてください。なお、本研修修了時に大阪大学歯学部附属病院より歯科技工士の修了証書を授与します。修了要件については、研修開始時にご連絡します。

１．募集人員　　約２５名

２．研修期間

６ケ月単位、前期（４月～９月）・後期（１０月～翌年３月）の２期間。

３．出願資格

「歯科技工士免許」を有する者。（２０２７年歯科技工士免許取得見込み者も含む。）

４．願書受理期間

２０２６年１２月２日（水）～２０２６年１２月１６日（水）

※午後５時までに郵便で必着

５．出願手続

志願者は、次の書類をとりまとめ、必ず簡易書留で下記あてに送付してください。

なお、受験料は徴収いたしません。

【送付先】　〒５６５－０８７１　大阪府吹田市山田丘１番８号
大阪大学 歯学研究科 総務課 庶務係

①　病院研修生申請書　　＜本院所定用紙＞
②　履　　歴　　書　　＜本院所定用紙＞
③　成績証明書及び出席状況証明書
④　健　康　診　断　書　　＜本院所定用紙＞
⑤　歯科技工士免許証の写
（ただし、２０２７年３月に歯科技工士学校を卒業見込みの者は、卒業見込証明書をもってこれに代えます。）
⑥　受　験　者　写　真　票　　＜本院所定用紙＞
⑦　受　　験　　票　　＜本院所定用紙＞
⑧　受験票送付用封筒
（定形長形３号の封筒に、自分の氏名、住所及び郵便番号を明記し、６２０円分（速達・特定記録）の返信用切手を貼付してください。）

＜本院所定用紙＞は、大阪大学歯学部附属病院HPよりダウンロードください。
掲載場所：　医療関係者の方へ　＞　研修生の募集　＞　歯科技工研修生　＞　募集案内

６．選抜方法

選抜は筆記試験、実技試験及び面接試験を総合して行います。

①　試験日時及び試験科目

試　験　日	試　　験　　科　　目		試　験　時　間
２０２７年 １月８日（金）	筆記試験	有床義歯技工学 歯冠修復技工学	９：１５～１０：１５
	実技試験	石膏棒歯型彫刻	１０：３０～１１：００
		クラスプ或いはバーの蝋原型製作	１１：１５～１１：４５
	作文（面接試験で使用）		１１：５０～１２：０５
	面接試験		１４：００～

注）〔１〕試験当日は午前９時に大阪大学歯学部第一実習室（Ｄ棟３階）に集合してください。

＊　集合場所等の詳細は受験票と併せて後日送付します。

〔２〕準備するもの

＊　筆記用具

＊　歯型彫刻のための彫刻刀

＊　蠟原型製作のためのインスツルメント

・実技試験の石膏棒及び蠟原型製作のための模型は不要

・電気エンジンの使用は不可

〔3〕筆記試験について、試験開始時刻後２０分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

７．受験票

①　受験票は、２０２６年１２月２５日（金）頃に本人あてに速達・特定記録郵便で発送する予定です。
なお、１月４日（月）までに到着しないときは、次頁11. の照会先に連絡してください。

②　受験の際は、受験票を必ず持参願います。

８．合格者発表

①　合格者の発表は、２０２７年1月２２日（金）午前１０時から大阪大学歯学部附属病院ホームページにおいて、合格者の受験番号を掲示します。

②　合格者には、「合格通知書」及び「手続書類」を書留郵便等で送付します。

③　電話、郵便等による合否に関する問い合わせには、一切応じません。

９．研修手続

選抜試験合格者で本院での研修を希望する者は、次により手続きを行ってください。

①　手続書類の提出

ａ．保　証　書

【提出期間　　２０２７年２月９日（火）～２０２７年２月１７日（水）】

ｂ．歯科技工士国家試験合格証書（写）〔２０２６年歯科技工士試験合格者のみ〕

【提出期日　　２０２７年４月１日（水）】

②　研修料　25,080円（６ケ月分）の支払い

（研修料は、前期分（25,080円）、後期分（25,080円）の２回に分けて銀行振込にてお支払いいただきます。）

【支払い期日】　　前期分　２０２７年３月２５日（木）

後期分　２０２７年９月１０日（金）

※　２０２６年歯科技工士試験受験者で、合格発表が期日以後になる場合は、１１．の照会先に予めご相談ください。

（注）２０２７年歯科技工士国家試験受験者で、試験が不合格の場合は、研修生として受入出来ません。なお、支払い期日までに研修料を支払わない場合は、研修生として許可いたしません。また、研修料については改定されることもあります。

10．研修開始期日　　２０２７年４月１日（木）

11．照会先　　大阪大学歯学研究科総務課庶務係

〒５６５－０８７１　大阪府吹田市山田丘１番８号

Tel：０６－６８７９－２８３１

E-mail：si-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp

（注）電話による照会は、月曜日から金曜日の９時～１６時の間にお願いします。

大阪大学吹田キャンパス案内図

交通機関

〔電車〕 阪急電車千里線「北千里駅」（終点）下車　東へ徒歩約25 分

〔バス〕いずれも「阪大本部前」下車　徒歩約５分

阪急バス／千里中央〈阪大本部前行〉

／北千里　〈阪大病院線〉

※千里中央発、北千里経由もあります。

近鉄バス／阪急茨木市〈阪大本部前行〉

（JR 茨木駅経由）

〔モノレール〕大阪モノレール「阪大病院前駅」下車　徒歩約15 分

出願に際しての注意事項

① 「病院研修生申請書」は、必ず、記入漏れのないよう注意してください。
研修期間の記入欄については、前期分の２０２７年４月１日から２０２７年９月３０日までの６カ月と記入してください。
後期（２０２７年１０月１日～２０２８年３月３１日）の研修については、前期終了前に継続申請を行ってください。

② 履歴書には、必ず写真（縦４㎝×横３㎝）を貼付してください。

③ 受験者写真票に貼付する写真は、履歴書と同じ写真を貼ってください。

④ 健康診断は、健康診断書記載の事項がすべて検査できる医療機関（国公立病院、保健所のほか私立病院、個人医院等の診療機関を含む。）で受診してください。

⑤ 出願書類について、誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消した上に訂正印を押印し、訂正してください。

⑥ 出願後に、氏名、住所及び電話番号等を変更した場合は、速やかに、書面にて歯学研究科総務課庶務係へ届け出願います。

⑦ その他、出願に際して不明な点があれば、電話で下記に照会願います。

⑧ 照会先：　〒565-0871　吹田市山田丘１番８号
大阪大学歯学研究科総務課庶務係
℡　０６―６８７９―２８３１

（注）電話による照会は、月曜日から金曜日の９時～１６時の間にお願いします。

２０２７年度 歯科技工研修生履修の概要

Ⅰ．研修の目的

当歯学部附属病院において、歯科技工士免許を有する者が、臨床での多種多様な歯科補綴装置の製作を通じてより高度な技工技術を修得するとともに、講義等の機会を積極的に活用して専門知識と技能を深めることにより歯科医療の一翼を担う人材の育成を目的とする。

Ⅱ．研修の内容

研修は実習と講義とにより行われる。

実習は、臨床実習、選択実習及び診療科実習からなり、患者に装着される補綴装置を製作する臨床実習が中心となる。また、講義では各診療科の専門領域の学識と各領域に関する歯科技工の意義を修得する。また、製作した補綴装置の装着や調整の診療に立ち会うことで、チームとしての歯科医療を体験する。

（１）臨床実習

臨床実習は、前期・後期それぞれ半年間に分画して行われ、歯冠班及び有床班の２つの班に分かれて、各班の担当職員が研修生各自の技工レベルに合せて下記の項目より臨床技工ケースを配当し、実習する。

「臨床実習の製作項目」

1）補綴･保存治療系

① CAD/CAM 冠
② CAD/CAM コーピングを用いたオールセラミッククラウン及びブリッジ
③ CAD/CAM フルジルコニアクラウン及びブリッジ
④ 硬質レジン前装冠、硬質レジン前装ブリッジ
⑤ 陶材焼付鋳造冠、陶材焼付ブリッジ、セラミックインレー
⑥ インプラント（プロビジョナル、アバットメント、上部構造）
⑦ 全部鋳造冠、ブリッジ、レジンジャケット冠
⑧ トレー、インプラントトレー
⑨ ホームブリーチトレー
⑩ テンポラリークラウン、プロビジョナルクラウン
⑪ コアー（メタル、レジン、ファイバー）
⑫ インレー（メタル、レジン、ハイブリッド）
⑬ 根面板（磁性アタッチメント含）
⑭ 全部床義歯、部分床義歯
⑮ 金属床義歯
⑯ 顎補綴義歯
⑰ 各種アタッチメント義歯
⑱ サイレンサー
⑲ ナイトガード、マウスガード
⑳ スプリント
㉑ 義歯修理、リライン
㉒ サージカルステント
㉓ 舌接触補助床

2）小児歯科、障害者歯科、矯正歯科、口腔外科
① インレー、コアー、鋳造冠
② 小児義歯
③ 各種歯列誘導装置、保隙装置
④ レジンシーネ
⑤ 手術用シーネ、他各種外科装置
⑥ 口腔内スキャナーと模型スキャナーの使用方法、三次元矯正デジタルセットアップ

（２）選択基礎実習

歯科技工士として成長するための基本的な知識や、より難易度が高い歯科技工をするための方法を指導する。選択基礎実習は研修生の自主性が重要視され、臨床技工ケースの製作に支障のない範囲での実習になる。

主な指導項目
資料作成方法（カメラ撮影方法も含む）
陶材焼付鋳造冠、CAD/CAM コーピングを用いたオールセラミッククラウン、プレスセラミックの製作方法及び基礎的な陶材の築盛方法
天然歯カービング
インプラント補綴の基礎知識、模型作り、アバットメントの製作方法
CAD/CAM の基礎知識及び操作方法
金属床義歯（全部床義歯、部分床義歯）の製作方法
顎補綴義歯の基礎知識及び製作方法
小児、矯正技工装置の製作方法
シェードテイキングの方法
三次元データを用いたデジタル外科的矯正治療シミュレーションの方法
その他

（3）診療科実習

歯科技工の技能の修得において、製作した補綴装置が患者の口腔内でいかに装着され、いかに機能するかを実際に観察し、考察することは極めて重要であり有益である。

1）口腔補綴科

・審美補綴、インプラント補綴、顎関節症等の診療見学
・クラウン及びブリッジ（支台形成・印象・試適・装着）の診療見学
・デジタル機器を用いた補綴診療の見学
・初診患者の問診、治療前のコンサルティングの診療見学

2）咀嚼補綴科

・有床義歯（全部床義歯、部分床義歯）ならびにインプラントオーバーデンチャー、顎補綴（顎義歯/オブチュレーターなど)、マウスガードの調整などの診療見学
・義歯の設計や治療術式と技工操作の関連を理解する。
・IOS を用いた口腔内スキャンおよび補綴装置のスキャンなどのデジタル機器の診療見学

3）矯正科

・固定式装置及び可撤式装置を用いた矯正診療の見学、治療メカニズムと技工操作との関連性を理解する。
  ①　矯正用装置の製作および装着の診療見学
  ②　総合技工室にて、臨床実習を行う。

（4）講義

専門診療科の教員により歯科技工に関連する以下の科目の講義が行われる。

科目：予防歯科学（1 時限）・歯科保存学（2 時限）・口腔治療学（2 時限）・クラウンブリッジ補綴学（6 時限）・有床義歯補綴学（6 時限）・口腔外科学（2 時限）・歯科矯正学（3 時限）・小児歯科学（1 時限）・障害者歯科学（1 時限）・顎口腔治療機能学（1 時限）・インプラント補綴学（3 時限）・デジタル補綴学（4 時限）・スポーツ歯科技工学（1 時限）

（5）歯科技工スーパーバイザーによるセミナー

現在、学外で広く活躍されている著名な歯科技工士の方々を歯科技工スーパーバイザーとして招聘し、それぞれの専門分野のセミナーが行われる。